

未来サミット：それは何をもたらすのか

国連事務総長による提言を取り入れた「未来のための協定」は、世界をどのように変えることになるのでしょうか。

目的

既存の合意が完全かつ公正に履行されるよう国際協力を強化すると共に、現在および将来世代のために新たな脅威と機会に効果的に対応できるようにします。その中で、マルチラテラリズム（多国間主義）への信頼と、お互いに対する信頼を回復させます。

背景

国連創設 75 周年は、全世界が新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のパンデミックと気候変動という共通の脅威、テクノロジーの進歩がもたらすリスクと機会、持続可能な開発目標（SDGs）の停滞に直面するさなかに巡ってきました。こうした情勢と前例を見ない相互間のつながりに鑑みて、加盟国はグローバル・ガバナンスの強化を誓い、国連事務総長に対して現在および未来の課題に対処するための提言を求めました（A/RES/75/1）。これに対して事務総長は『私たちの共通の課題（Our Common Agenda）』という報告書をまとめて対応し、既存のコミットメントの履行を加速させ、2015 年以降に出現したグローバル・ガバナンス内のギャップを埋めるために、人々、国同士、世代間の連帯と、それに対応する多国間システムの刷新を呼びかけました。この報告書では、こうした措置を実行する一世代に一度の機会として、「未来サミット（Summit of the Future）」を提案しています。

国連総会は、2023 年の「SDG サミット」を基盤として、2024 年 9 月に「未来サミット」を開催し、その成果について政府間で協議を行い、前書きと 5 つの章（「持続可能な開発と開発のための資金調達」「国際の平和と安全」「科学、テクノロジー、イノベーション、デジタル協力」「若者および将来世代」「グローバル・ガバナンスの変革」）からなる、行動志向の「未来のための協定（Pact for the Future）」をまとめることを決定しました。事務総長は、加盟国からの要請を受けて、同サミットに向けた加盟国の準備を支援すべく『私たちの共通の課題』のいくつかの提言についてより詳細な情報を含めた、11 の政策概要を発表しています。

SDGs を加速させる

『私たちの共通の課題』における提言は、2030 アジェンダを大きく加速させることを目指しています。「未来サミット」で検討するよう提案されている報告書の具体的なアイデアは、グローバル協力の「方法」に焦点を当てており、それによって(a) SDGs を再び軌道に乗せ、(b) 新たな機会

と課題に対応することで、グローバル協力の「中身」を実現できるようにするものです。

影響

未来を守る

将来世代を代表する**担当特使**、明確なコミットメントを伴う（「未来のための協定」の一部としての）**政治宣言**、進捗を議論することに**特化した政府間フォーラム**、そして政策や行動がもたらす将来の影響を評価するための**洞察、データ、科学**のより良い活用を通じて、グローバル・レベルでの意思決定が、将来世代に対する予見可能な害を意識的に回避し、将来世代の利益を保護するようにします。現在の世代も、この長期的な思考から恩恵を受けます。

グローバル・ショックを管理する

緊急プラットフォームを期限付きで**招集する常設の権限**を**国連事務総長に付与**することによって、大規模で複雑性を伴うグローバル・ショックに対する国際的な対応を強化します。このプラットフォームは、ハイレベルな多部門間の調整、アドボカシー、参加主体の貢献への説明責任を通じて価値を付加するものです。既存の仕組みに取って代わるものでも、それと重複するものでもありません。

若者を有意義に包摂する

国レベルでの**ユース諮問機関**、**若者の有意義な参画のためのグローバル基準**、**進捗を追跡する枠組み**、**国連の意思決定プロセスに若者の参加**を誘導する方法、**常設の国連ユース・タウンホール**を通じて、意思決定への若者たちの参加とその結果としての信頼の拡大・強化を図ります。

重要なものを測定する

国内総生産（GDP）を補完し、繁栄、人類の福祉、自然環境の保護に必要なものを満たす、一連の重要な指標に基づいて、持続可能な開発の影響、進捗、資源配分にとって真に重要な事項を測定します。これは、主要指標をまとめた**ダッシュボード**に加え、この**重要な事項を評価**するという**政治的コミットメント**、さらに関連する**統計やデータに関する能力**に向けた各国への支援を通じて達成されます。

自由で開かれた、安全なデジタルの未来

人間開発と SDGs の進展、**人権**、**人間による人間のためのガバナンス**を目指すグローバル協力が**根差した**、すべての人にとって自由で開かれた安全なデジタルの未来のビジョンの概略を示すコンパクトを、「未来のための協定」の一部として採択することで、デジタル技術の機会を活用し、そ



のリスクを管理します。このコンパクトは、すべての人のデジタル接続性の加速、公共デジタル・インフラの構築、公的な規制能力の強化、人工知能（AI）ガバナンスの育成など、共通の原則、優先事項、目標をもとに**世界、地域、国レベルでの取り組みを導くデジタル・ガバナンスの枠組み**を提供するものです。これは、既存の各フォーラム、年次の**デジタル協力フォーラム**、および人権、法の支配、公共の利益に人工知能を整合させるための**新たな AI 機関**を通じて、**マルチステークホルダーによる持続的な対話と協力**を促進します。

すべての人に資するグローバル金融システム

国際金融アーキテクチャを変革することにより、目的に適合した、より包摂的で、公正、かつ代表性があり、効果的で、レジリエンス（強靭性）のある、第二次世界大戦後の世界の様相ではなく今日の世界に対応するものにします。このアーキテクチャは、**SDGs、気候行動、そして将来世代に向けた先行投資**です。これには、以下の 6 つの分野で改革が必要です。

(i) **グローバル経済のガバナンス**、例えば、国際金融機関の意思決定において、開発途上国の声と代表性を高めることや、国連の下にシステム全体を統合する最高機関を設立し、一貫性を向上させ、その優先事項を 2030 アジェンダと整合させること。(ii) **債務救済および国の借入コストの低減**に関する持続的な解決策、例えば、債務整理メカニズムの構築、究極的には国家債務機関の創設。(iii) **国際的な公的融資**、例えば、国際金融機関を通じたものも含め、開発および気候変動対策への資金提供の大幅な増額。(iv) **グローバルな金融セーフティネット**、例えば、すべての国が完全な資本取引を可能にするツールボックスにアクセスできるようにすること、特別引出権（SDR）の役割と使い方を改善すること、課徴金を終わらせること、多国間での通貨スワップ制度を設立すること。(v) 資本市場における**短期主義への対処**と持続可能な融資。(vi) 納税回避や脱税と闘うための、**包摂的かつ公正なグローバルな租税アーキテクチャ**。

宇宙空間の恩恵を享受する

宇宙空間の活動の急成長に関連してもたらされる恩恵が、以下を通じて、リスクを軽減しながら最も包摂的な方法で利用されるようになります。(i) 宇宙空間の交通管理、資源活動、宇宙ゴミの除去などを含む**宇宙の持続可能性**のための体制または枠組み。(ii) 宇宙における平和、安全、**軍拡競争防止**のための国際協定。(iii) より**包摂的なガバナンス**への取り組み。(iv) **国連システム**における協働の強化。

新たな平和への課題

私たちの集団安全保障体制が、信頼、連帯、普遍性の原則に導かれ、従来の領域でも新たな領域においても、紛争をより良く防ぎ、管理し、解決ができるようになります。

グローバル・レベルでの紛争予防は、核軍縮も含め、戦略的リスクと地政学的分断に対処することで強化されます。国レベルでの紛争予防は、根本的な要因に焦点を当てて、持続可能な開発への投資を倍増させることで強化されます。**平和活動および平和執行への最新の取り組み**は、今日の紛争の現実と地域の取り組みがもつ価値観を認識するものです。私たちは、**新興分野の兵器化を阻止**し、サイバー空間、宇宙空間、自律型致死兵器、AI、バイオリスク等における**責任あるイノベーションを促進**する態勢を、これまで以上に整えます。より強力な**集団安全保障体制**には、改革された安全保障理事会、再活性化された総会、強化された平和構築委員会が含まれます。

教育の変革

教育や生涯学習が**グローバル公共材**として広く認知されるに従い、「学習社会」の創造に向けた新たなビジョンが誕生します。このビジョンを発展させ、2022 年の「教育変革サミット」で表明された決意の実行を支援する、国際協力が強化されます。

情報の誠実性

すべてのステークホルダーが、自主的な**デジタル・プラットフォーム上の情報の誠実性に対する国連行動規範**に従い、人権を保護すると共に、世界中に情報の誠実性への**理解を広める**ことに加え、**国連事務局内の専門能力**が、この規範の実行を支援し、国連のマンデートの実施や実質的な優先事項に影響を及ぼすオンライン上の誤情報・偽情報、ヘイトスピーチに対処することで、デジタル空間は、より安全で包摂的なものとなります。これらの進展は、「未来のための協定」で言及される可能性があります。

国連 2.0

国連システムは、**その諸機関の文化やスキルの変革**を通じて、前述の変革に対する支援を含めて、加盟国をより良く支援することができるようになります。「国連 2.0」とは、**イノベーション、データ、デジタル、先見性、行動科学**における専門知識をアップグレードすることであり、国連システムによる成果を改善し、加盟国が同様の専門知識を構築するのを支援し、**SDGs に向けた共通の前進**を加速させることを意図しています。これらの進展は、「未来のための協定」で言及される可能性があります。

**11 の政策概要の完全版は、
こちらをご覧ください。**

<https://www.un.org/en/common-agenda/policy-briefs>